

令和2年度

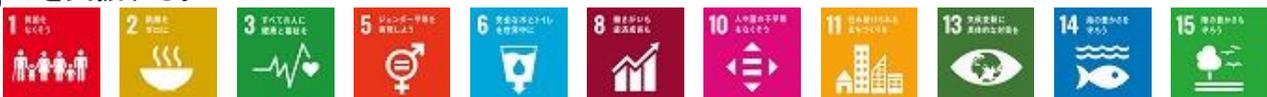
美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業に関する検証

令和2年度 美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する検証

第2期総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの5ヶ年計画となっており、地方創生の実現に向けて3つの基本目標と4つの具体的な政策(プロジェクトM)を定め、重要業績評価指標(KPI)を設定しています。この3つの基本目標を達成するため、合計41事業を具体的な事業として設定しております。

今回、評価検証を行うための基礎資料として、「各課実践事業」ごとに評価を行いました。評価の状況としては、全実践事業41件のうち、A・B評価はあわせて19件(全体の約46%)となり、第2期の初年度としては概ね順調にそれぞれの施策が推進されている。D評価の2件については、廃止を含めた施策の見直しを検討していきます。

1. 各基本目標ごとの状況

内 容	5年後の数値目標	R2実績
基本目標① 家族と暮らし続けたいまちづくり	出生数を50人確保	20人
基本目標② 地域みんなで支えるまちづくり	地域で新たに移住者を30人確保	20人
基本目標③ 「会える」がたくさんのまちづくり	観光入込客を年間22万人確保	108,122人
今後の展開		
<p>引き続き、保健・教育・福祉等関係機関や地域の子育て支援団体等との情報交換や連携を行い、その中で子育て支援センターの開所に向けた、利用者(子育て世代)へのアプローチ方法についても検討しながら、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた仕組みづくりを行う。</p> <p>① </p>		
<p>引き続き、町内全24行政区での「地区別定住戦略(ちくせん)」の策定を目指す。当該地区の人口分析に基づき、地域住民で将来像を描き、話し合い、地域に根差した特色ある人口減少対策に向けた取り組みを支援する。</p> <p>② </p>		
<p>全国的に移住に対する機運が高まりを見せる中、さらなる情報発信の充実を図る。またコロナ禍の影響で観光需要は、県内の内需喚起がポイントとなることから、マイクロツーリズム(2時間圏域)事業により、新たな体験型観光ツアーの造成を図る。</p> <p>③ </p>		

2. 各課実践事業の評価基準

評 価	評価基準	評価施策数
A	着実に実践され、大きな効果が期待される。	8
B	概ね実践され、効果が期待される。	11
C	実践されるが、まだ効果はまだ早い。引き続き実践する。	5
D	実践されるが、効果の見込みなし。(廃止も含め検討)	2
E	事業未実施。(R2に予定していたが、実践できなかった)	3
F	事業未実施。(R3以降に実践する事業)	12
計		41

3. 各課実践事業ごとの評価

項目	主管課	事業名	評価
1 子育て支援	町民生活課	① 子育て支援センター開設	F
		② 預かり保育時間延長	F
		③ 保育所ごはん補完計画	B
		④ 病児保育施設の設置	F
		⑤ ウッドスタート	F
		⑥ 出産祝い金の支給	A
		⑦ 出生届(写し)ステッカープレゼント	F
		⑧ 保育使用料の軽減	A
		⑨ 子ども医療費の無料化	F
	健康福祉課	⑩ 子育て相談窓口の設置	E
		⑪ 育児相談事業	D
		⑫ 不妊治療費助成	B
	教育課	⑬ 子ども(乳幼児含)が「育つ」居場所創設事業	A
		⑭ 美郷探検隊事業と家庭教育推進大会の開催	C
		⑮ 生涯学習推進事業「生涯学習人材バンク」	B
		⑯ 給食費無償化	A
	政策推進室	⑰ 婚活支援の充実	D
2 地域づくり	企画情報課	① 地区別戦略の策定・実施	B
		② 観光アプリの開発	E
		③ 新規観光(体験)ツアー事業	C
		④ 美郷町総合PR事業(企業版ふるさと納税)	A
	教育課	⑤ 総合型地域スポーツクラブの設立	C
		⑥ 町立図書館wi-fi計画	A
3 しごとづくり	企画情報課	① ゼロ円起業の実施	F
		② 新規事業進出支援(飲食店限定)	F
	農林振興課	③ 美さぼーと事業(地域おこし協力隊)	C
		④ 新規就農・担い手対策事業	B
		⑤ 山村雇用確保・森林整備事業	B
		⑥ 山村雇用・森林整備人材育成	B
	政策推進室	⑦ 宮崎ひなた暮らしUIJターン支援事業	B
		⑧ 産地型商社の設置	A
		⑨ 美郷町職業紹介所事業	C
4 移住・定住支援	建設課	① 定住促進住宅の整備(南郷地区②、北郷地区②)	F
		② 単身住宅の整備(アパートタイプ:西郷地区①)	F
		③ 既存住宅の整備(門田①、川上迫①、愛宕⑦、和田①)	A
		④ 町による計画的な分譲地の造成	F
	政策推進室	⑤ 移住支援員の設置	F
		⑥ 美郷アエルCafeの開催	E
		⑦ 移住相談窓口の設置	B
		⑧ 移住体験の実施	B
		⑨ 空家バンク事業	B

4. プロジェクトMの展開

項目	重要業績評価指標 (KPI)	目標値(年度)	R2	R3	R4	R5	R6
1 子育て支援	①子育て支援センターの開設	1施設(～R6)	0				
	年間利用組数	年300組(R6)	0				
	親を対象とした子育てイベントの参加者数	年60人(R6)	0				
	②預かり保育時間延長	3施設(～R6)	0				
	③生涯学習人材バンク事業参加者数	年100人(R6)	25				
	④美郷探検隊事業参加者数	年300人(R6)	100				
今後の展開	⑤結婚支援事業でのマッチング数	10組(～R6)	0				
<p>①R3年10月に開所予定(利用組数は最終年度に300組を目指す) ②社会福祉協議会との協議の上、体制が整い次第開始する。 ③人材の掘り起こしにより、バンク登録予定者を20名選定。今後も更に増やし生涯学習を推進。 ④家庭教育推進大会のオンライン開催など、新たな手法により、体験や学びを止めずに実施。 ⑤町独自の婚活廃止。今後は他婚活イベントPRや結婚相談所のPRに努める</p>							
2 地域づくり	①地区別戦略の策定地区	24地区(～R4)	0				
	②地区別戦略の実施地区	24地区(～R5)	0				
	③総合型地域スポーツクラブの設立	1団体(～R6)	0				
	④イベント実施による外国人観光客数	年100人(R6)	0				
	今後の展開	⑤新規観光(体験)ツアー数	年10件(R6)	4			
<p>①令和3年度末までに15地区、令和4年度末までに全24地区の策定を目指す。 ②令和4年度中に15地区、令和5年度中に全24地区の実施を目指す。 ③各学校区単位において特色のある地域スポーツ活動を支援する。 ④新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、まずは既存事業の見直しから実施する。 ⑤令和3年度より2名の地域おこし協力隊を任用しツアー造成を図っている。</p>							
3 しごとづくり	①新規起業家数	5事業者(～R6)	1				
	②新規農林就業者数	60人(～R6)	3				
	③地域おこし協力隊終了後の就労者数	5人(～R6)	2				
	④職業体験受入数	年10人(R6)	0				
	今後の展開	⑤中間支援組織(産地型商社等)の設置	1組織(R5)	1			
<p>①起業支援員(地域おこし協力隊)を中心に、情報発信と丁寧な対応を心がける。 ②就業が容易となる制度設計や、農林業の魅力を発信することで、新規人員の確保を行う。 ③隊員の任期後の定住につながるよう支援していく。 ④町が受入窓口になるのではなく、必要に応じて各事業所が受け入れるよう、体制を整備する。 ⑤地域内への再投資先の検討を行い、地域内でお金を循環させる仕組みを構築する。</p>							
4 移住・定住支援	①移住支援員を通じた転入者数	5世帯(～R6)	0				
	②子育て世代用の定住促進住宅の整備数	9棟(～R6)	2				
	③若者世代用の単身住宅の整備数	1棟(～R6)	0				
	④お試し滞在施設の利用者数	400人日(～R6)	177				
	今後の展開	⑤移住希望者相談件数	300件(～R6)	96			
<p>①各地域に移住支援員の概要を説明し、地域との協力体制を構築する。 ②改修及び新規整備について、計画に沿って実施する。 ③②の計画の進捗状況をみながら実施する。 ④新型コロナ収束後の県外からの移住希望者の動向をチェックする。 ⑤移住者や関係人口の増加につながるよう、個別に対応していく。</p>							



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	